

【BrEaknoT】新作「Gemini(ジェミニ)」&「Minimaruko(ミニマルコ)」発売！ 利き手を選ばない、日本最小サイズの二つ折り財布

2022年1月下旬より発売開始予定

日本最小サイズの二つ折り財布「Gemini(ジェミニ)」&コインケース「Minimaruko(ミニマルコ)」



① Gemini / ジェミニ

価格：¥ 15,400 (税込)

サイズ：縦79mm×横89mm×厚み13mm
(折り畳んだ状態)

* 意匠登録出願済み

BrEaknoT
Lunch Time Project
Made in Japan Ruboa

② Minimaruko / ミニマルコ

価格：¥ 2,750 (税込)

サイズ：縦55mm×横84mm×厚み8mm

* 素材：牛革(栃木レザー)

* カラー：全6色(ブラック・チョコ・ナチュラル・オレンジ・キャメルイエロー・グリーン)

★2022年2月「ブッテロ」シリーズ発売予定

香川県東かがわ市の革小物メーカー、ルボア株式会社で生まれたファクトリーブランド『BrEaknoT』が、日本最小サイズの二つ折り財布「Gemini(ジェミニ)」&コインケース「Minimaruko(ミニマルコ)」を発表します。

「Gemini」にはお札10枚とカード6枚を収納できます。着脱できるコインケース「Minimaruko(別売り)」を片方のカード室に装着することができ、キャッシュオンリーの場面での小銭の支払いやおつりがあるときにも便利です。

左右線対称の構造が特徴的で、「Minimaruko」を装着する場所を左右入れ替えることで、「右利き用」にも「左利き用」にも変化します。これにより、従来のミニ財布にありがちだった「利き手用」の商品を予め選ばなければならないという問題を解消することができます。

* GeminiにMinimaruko装着時はコイン10枚以下を推奨

* 使い方の例：お札10枚+カード6枚 or お札10枚+カード3枚+コイン10枚

「Minimaruko」は、カードサイズのミニマルなコインケースです。手のひらに収まる程小さく可愛らしい見た目ながら、コイン25枚程度の収納が可能です。フタの部分が受け皿の役割を果たし、欲しいコインを探しやすく、取り出し易い設計です。

「Gemini」に収納した際には、三角のフタ部分がカード室上部の空いているスペースに収まるので、財布の開け閉めを邪魔しません(コイン10枚以下の場合)。

「Gemini」&「Minimaruko」は、キャッシュレス・カードレス化を好まれる方に特におすすめのアイテムです。

<<monovaにて、新作発表会を開催！>>

1月6日(木)より、「Gemini」&「Minimaruko」を新宿
ショールームにてお披露目いたします。

その他にも、新作カードケース「Carta」&「Letta」や人
気の「Minitto」オンライン限定モデルをご紹介します。

是非この機会にお見逃しなく。

* 詳細は別紙を参照ください。

—開催概要— 「BrEaknoT」新作発表会

会 期：2022年1月6日(木)～2022年2月8日(火)

10:30 - 18:30 (最終日は15:00終了) / 水曜定休

会 場：monova内 特設会場 (入場無料)

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 5階

主 催：ルボア 株式会社・monova

【ルボア株式会社】1961年設立。革手袋製造で培われた裁断・縫製等の高い技術力を活かし、革小物の製造・販売を開始。「自ら使ってみたいもの」をコンセプトに開発したオリジナル製品は、シンプルで機能性に定評がある日本のブランドとして、世界中からも評価されています。■ <https://ruboa.com/>

ルボア 株式会社・monova 主催
香川県の革小物ブランド「BrEAknoT」新作発表会を開催！
2021年1月6日（木）～ 2022年2月8日（火）

「カードケース」&日本最小サイズの「二つ折り財布」+「コインケース」を新宿でお披露目
大人気「Minitto(ミニット)」のオンライン限定商品も店頭でご紹介します！

『BrEAknoT』は、香川県東かがわ市の革小物メーカー、ルボア株式会社で生まれたファクトリーブランドです。『今までに作ったことがないもの』『今までに誰も見たことが無いようなもの』を作りたいという職人たちの遊び心と熱意からスタートしました。

今回開催する新作発表会では、カードを「ミニマルに持ちたい方」と「沢山持ちたい方」が、それぞれのジャストフィットの使い心地を選べるように開発したカードケース「Carta(カルタ)」&「Letta(レッタ)」と、日本最小サイズの二つ折り財布「Gemini(ジェミニ)」+コインケース「Minimaruko(ミニマルコ)」をご紹介します。細部まで行き届いた職人技により、どのアイテムもコンパクトかつ、ストレスのないスマートな使い心地を体感できます。

会場では、BrEAknoTオンラインストア限定販売の「Minitto(ミニット)」3種もご紹介いたします。
東京・新宿でご覧いただけるこの機会を、是非お見逃しなく。

2021年11月12日発売 「Carta / カルタ」&「Letta / レッタ」



①Carta / カルタ 価格：¥4,070(税込)
サイズ：約W58 × H90 × 厚6mm

②Letta / レッタ 価格：¥8,250(税込)
サイズ：約W96 × H66 × 厚15mm

* 素材：牛革(栃木レザー)
* カラー：全6色(ブラック・チョコ・ナチュラル・オレンジ・キャメルイエロー・グリーン)
★2022年1月「ブッテーロ」シリーズ発売予定

BrEAknoT
Lunch Time Project
Made in Japan Ruboa

2022年1月下旬発売予定 「Gemini / ジェミニ」&「Minimaruko / ミニマルコ」



③Gemini / ジェミニ 価格：¥15,400(税込)
サイズ：縦79mm × 横89mm × 厚み13mm(折り畳んだ状態)
* 意匠登録出願済み

④Minimaruko / ミニマルコ 価格：¥2,750(税込)
サイズ：縦55mm × 横84mm × 厚み8mm

* 素材：牛革(栃木レザー)
* カラー：全6色(ブラック・チョコ・ナチュラル・オレンジ・キャメルイエロー・グリーン)
★2022年2月「ブッテーロ」シリーズ発売予定

【特別販売】「Minitto」限定モデルをご紹介します

現在「BrEAknoT」オンラインストア限定で販売している、『Minitto』の「コードバン(¥33,000)」・「ビーノ(¥19,800)」・「牛革 エンボスレザー(¥19,800)」をmonova店頭でもご紹介します！

* 在庫分が終了次第受注生産(1~2ヶ月) / 全て税込価格

—開催概要— 「BrEAknoT」新作発表会

会 期：2022年1月6日(木)～2022年2月8日(火)
10:30 - 18:30 (最終日は15:00終了) / 水曜定休
会 場：monova内 特設会場 (入場無料)
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 5階
主 催：ルボア 株式会社・monova

【ルボア株式会社】1961年設立。革手袋製造で培われた裁断・縫製等の高い技術力を活かし、革小物の製造・販売を開始。「自ら使ってみたいもの」をコンセプトに開発したオリジナル製品は、シンプルで機能性に定評がある日本のブランドとして、世界中からも評価されています。■ <https://ruboa.com/>

有限会社桂雛・monova 主催
かつらびな
モダンと伝統が融合した雛人形「桂雛」展示受注会を開催！
2022年1月8日（土）～2022年2月15日（火）

昨年ご好評をいただいた「桂雛」の展示受注会
 今年はシンプルかつ洗練されたユニット家具との組み合わせをご提案いたします



現代の暮らしになじむ雛人形

1926年(昭和元年)に創業した有限会社桂雛は、現在の小佐畑孝雄氏が三代目として雛人形を手掛けています。分業制で作られた雛人形が主流となった今も、桂雛は200以上ものパーツを組み合わせていく一貫した手作りを続けています。一体一体を丁寧に作る製造法・技法が高く評価され、平成3年には「茨城県郷土工芸品」に指定されています。

小佐畑氏は、雛人形を「季節限定の節句人形」から、一年中好きなときに愛でられる「インテリア・アート」にすることを目指しています。そのため国内外へ常に広く目を向けるなど、雛人形の「形・色・文様」研究に余念がありません。衣には厳選した結城紬や西陣織を用いるだけでなく、海外のインテリア用ファブリックなども積極的に取り入れています。

展示受注会では桂雛の伝統的な製作技法をご紹介しながら、家具・建具メーカー「トーマ」とのコラボレーションにより現代の暮らしになじむ飾り方・楽しみ方をご提案いたします。初節句のお祝いにはもちろん、大人が楽しめる新時代の雛人形をぜひご覧ください。

【展示内容】

桂雛 雛人形各種

「鯛づくし」の友禅を衣装に採用した作品、願いが込められた吉祥文様の西陣織・結城紬の作品をご覧ください。

展示品にない作品もお取り寄せ・ご注文が可能です。※納期：約2週間

Kasane Frame ¥27,500(税込)～

雛人形と同じ素材・手法で作られているため、小佐畑氏が手掛ける桂雛の世界観を絵画のように楽しめます。

20種類を超える貴重な生地と、西陣織で表現した美しいグラデーション「襲ねの色目」を自由に組み合わせてご注文いただけます。※納期：約2週間

サイズ・価格：(small) W233×H 283×D18mm / (medium) W233×H433×D18mm

【有限会社桂雛 概要】

茨城県が誇る伝統工芸品「桂雛」。現在は三代目となる小佐畑孝雄氏が、初代から続く伝統工法を守りながら「結城紬」や「西ノ内和紙」などの地元産品を積極的に活用しています。希望の生地で衣装を仕立てるオーダー品の制作などにも取り組み、桂雛の継承に力を注ぎます。

■ <http://www.katsurabina.jp/index.html>

■ <http://takaokosahata.jp/>

—開催概要— モダンと伝統が融合した雛人形「桂雛」展示受注会

会 期：2022年1月8日(土)～2022年2月15日(火)

10:30 - 18:30 (最終日は15:00終了) / 水曜定休

会 場：monova内 特設会場 (入場無料)

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 5階

主 催：有限会社桂雛・monova



藍の徳島からJAPAN BLUEの器をご紹介します

【開催中】2021年12月11日（土）～2022年1月23日（日）

ブルーの色が鮮やかな大谷焼の器を、期間限定で特別展示いたします。



5つの窯元による、日常使いに最適な器

大谷焼（おおたにやき）は、徳島県鳴門市大麻町において約230年の長い歴史がある徳島県を代表する陶器です。徳島といえば藍、藍染が有名ですが、この大谷焼も藍の生産に使われる甕として使用されてきた歴史があります。この甕は大人の身丈ほどの大きさがあり、今でも「藍甕」として作られています。そうした地域の根ざした背景を持つ大谷焼は、現在、地域では6窯元のみが作るという全国的には知る人ぞ知る希少な産地となっています。

今回は、そのうち5つの窯元が揃い、身近な食器のご紹介を行います。近年取り組んでいる徳島の藍にちなんだJAPAN BLUEをテーマにした器が並びます。産地内は歩ける距離で各窯元が生産をしていますが、かわいらしいカジュアルな器、品のある佇まいの器、また機能性のある器など、それぞれ個性のある器が並びます。

首都圏ではまだまだ見る機会の少ない大谷焼の器たちです。是非、会場に足を運んで見て、そして触れてもらえればと思います。

【参加者・出展品情報】

- 大西陶器 <http://onishitoki.jp/>（フリーカップ・マグカップ 他）
 陶業会館 梅里窯 <http://www.umezatogama.com/>（珈琲カップ 他）
 窯元 森陶器 <https://morigama.jp/>（平皿・フリーカップ 他）
 佳実窯 <https://yoshimigama.com/>（コーヒークップ・湯呑 他）
 田村商事(株) <http://otaniyaki.jp/index.html>（マグカップ・箸置き 他）

—開催概要— Japan blue 大谷焼

会 期：2021年12月11日（土）～2022年1月23日（日）
 10:30 - 18:30（最終日は15:00終了）/水曜定休
 会 場：monova内 特設会場（入場無料）
 場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
 リビングデザインセンターOZONE 4階
 主 催：大谷焼陶業協会

八重山藍として初の首都圏でのお披露目

2022年1月22日（土）～2022年2月20日（日）

沖縄・八重山諸島で生まれた「八重山藍」のモノづくりをご紹介します



島々の自然と共に生きる藍色

沖縄県の南端に位置する石垣島・西表島・与那国島などの島々からなる八重山諸島。この地域には、古くから独特の藍染が存在していましたが、時代とともに途絶えつつありました。しかし近年、地域の伝統的な文化や技術への意識の高まりもあり、この地域の藍染を残そうとモノづくりをする作り手が一人また一人と、新たに生まれてきました。

そこで、この歴史を途絶えさせることなく、次世代に継承していくことを目指し、地元の藍染を生業とする有志4ブランドにより、2021年に「八重山藍振興組合」が発足しました。今回は、その4ブランドによるプロダクトを紹介いたします。

八重山藍は、「自然との共生」を念頭におき、栽培には農薬や除草剤を使用せず、収穫後に加工する「沈殿藍」を、薬品類を使わずに発酵させた染液で染め上げます。この展示では、そんな八重山藍が彩るバッグやポーチなどの生活雑貨を中心にご覧いただけます。

開放感のある気持ちの良い八重山の海や空の青色をそのまま写したかのような八重山藍の魅力をぜひ、ご覧ください。

【展示品(例)】

ポーチ	4,620円
手提げ袋	6,600円
与那国織デニムトート	13,200円
YONAGUNI SEttA	27,500円

【八重山藍振興組合 概要】

2021年、八重山諸島で栽培し活用されてきた「ナンバンコマツナギ」と「タイワンコマツナギ」を原材料とする藍染めの振興・発展・継承を目的に集った任意団体。

■ <https://yaeyamaai.okinawa>



—開催概要— 八重山藍 商品展示販売会

会期：2022年1月22日（土）～2022年2月20日（日）

10:30 - 18:30 / 水曜定休

会場：monova内 特設会場（入場無料）

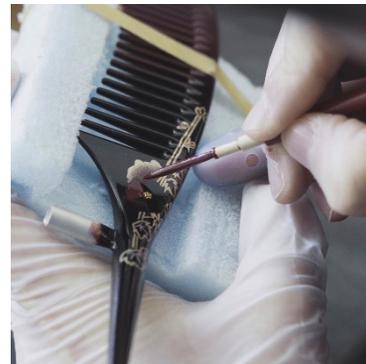
場所：東京都新宿区西新宿3-7-1 リビングデザインセンターOZONE 5階

主催：八重山藍振興組合・monova

出展ブランド：島藍農園・福ん黄・藍夏・SAKURA YONAGUNI



ふくしまみらいチャレンジプロジェクト

2021年9月10日(金)～2022年2月28日(月)
monova 新宿ショールームにて展示販売会【開催中】地域に根づいて、未来へつながっていく取り組みを応援

2011年の東日本大震災・原子力災害などの影響で、福島県では今なお復興に向けた取り組みが必要とされています。

「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」は、地域を想い果敢に挑戦する事業者や地域の皆様とともに、一過性のもではなく、将来的に地域に定着する産業の創出を目指して立ち上がったプロジェクトです。

このプロジェクトを通じて、地域の将来につながる唯一無二の逸品を全国に発信しています。そしてより多くの方々に発信した県産品の魅力に触れていただくことで、安定した経営・販路拡大につながる「ファン」づくりを目指しています。

出会いの場を増やすため、大都市圏を中心とした全国各地の百貨店・駅ビル等商業施設内での販売イベントなどが行われています。

東京都心での出会いの場として、2021年9月10日から2022年2月28日まで、「monova」新宿ショールームにて商品展示及び販売をいたします。福島の技術を結集した「くし」や、アウトドアで活躍する頑丈な「バッグ」、江戸時代からの伝統技術をモダンにアレンジした「陶器」など、新たな出会いをお楽しみください。

ふくしまみらいチャレンジプロジェクト

【プロジェクト対象者】

福島県浜通り地域等12市町村
田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町
大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

【プロジェクト紹介ページ】

<https://fukushima-challenge.go.jp/>



【monova 展示事業者(ブランド)】

<ul style="list-style-type: none"> ・キャニオンワークス(CWF) ・サンプライト ・サンコーエンジニア ・ハートオブワン ・小高ワーカーズベース(iriser) ・金泉ニット(FEIL) ・齋脩絹織物 ・齋藤産業 ・KOSHINOMICHIKO 	<ul style="list-style-type: none"> ・あさか野窯 ・京月窯 ・陶徳窯 ・半谷窯 	<p>...他</p>
---	--	-------------